

令和元年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成30年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	会計事務		部				課長	小林 睦美				
			課	会計課			担当	石川真利子				
			係	会計係			電話	内線 2102				
	第五次総合基本計画における位置付け										実施根拠＜法令、要綱等＞	
	政策項目	07 計画の実現のために										地方自治法 会計事務規則
	大項目	-										公金取扱金融機関に関する規則
中項目	03 自主自立による行財政運営										法令による事業実施義務	
個別計画（年度）											☒ 義務 ☐ 市上乗せあり ☐ 任意 ☐ 都補助等あり	
予算科目コード	款	02	項	01	目	05	細目	001	細々目	01		
事務事業概要	目的											
	＜対象は誰、何か＞						＜対象をどの程度の状態にすることを意図しているか＞					
	債権債務者						出納事務処理を正確、迅速に行い、債権者に請求金額を速やかに支払う。また債務者からの収納金を正確に収納する。					
	実施内容						実績・成果					
	①市長からの支出命令、収入通知等を審査する。 ②債権者に支払いをする。 ③納入義務者等から現金等を収納する。						平成30年度の処理件数状況 【一般会計】 収入 18,183件、支出 26,806件 【特別会計】 収入 3,736件、支出 3,112件					
	コスト		(単位)	29決算	30当初予算	30決算	31当初予算	備考＜特財名称等＞				
	直接事業費		千円	1,773	1,861	1,770	1,879	雑入-水道事業会計負担金（22-04-05-01-23） 公金総合保険料及び口座支払事務手数料の水道部負担分として				
	財源内訳	国庫支出金	千円									
		都支出金	千円									
		地方債	千円									
その他特定財源		千円	10	11	7	10						
一般財源		千円	1,763	1,850	1,763	1,869						
一般職員人件費		千円	64,000	66,720	63,840	75,240						
人工数		人	8.00	8.00	8.00	9.00						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
再任用代替嘱託職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	65,773	68,581	65,610	77,119						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由	債権者への正確かつ迅速な支払及び収納金（市税、使用料等）の正確な収納を法令等にのっとり適切に執行する。					判断理由	適切に支出・収納できるよう、正確かつ迅速に審査・指導を行った。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由	財務会計システムでの出納事務処理によりスムーズな出納事務処理が行われおおむね達成できているが、各課担当職員のより一層のレベルアップを図り、円滑な会計事務の流れを確保する必要がある。					判断理由	事業の成果については特段の変化はない。また、総事業費についても前年度と変わらないため。				
課題と今後の方向性	現状及び中長期的な課題						今後の方向性					
	適正で迅速な出納事務について、おおむね実施できたが、昨年度においては、主管課から伝票の提出が遅れた支出等があったため、適正な出納のために課全体として取り組んでもらうよう内部統制に努める。 また、令和2年度開始の下水道事業公営企業化及び今年度の下水道特会の打ち切り決算に向け、法令等を整備し、具体的な事務の流れについて検討する。						(前年度 E) →		E	現状を維持		
							令和2年度予算編成における具体的な取組					
						金融機関の体制の見直しや料金改定等により、指定金融機関及び収納代理金融機関より費用負担増を要求されている中、他市との均衡や要求された負担額が適正であるかを判断しつつ、事務手続きの改善等を図り予算への影響額を最小にする。						